



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年12月②号

とんでもない！米軍ヘリから窓が落下

米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）に隣接する市立普天間第二小学校の校庭に13日午前10時過ぎ、同基地所属のCH53E大型ヘリの窓が落下しました。落下した衝撃ではね上がった小石が4年生の男子児童1人に当たり、左腕に擦り傷を負いました。窓は1メートル四方の窓枠ごと落下し、アクリル製の破片が飛び散りました。子ども達はどんなに怖かったことでしょう。当然、翁長沖縄県知事や県内の自治体、議会や市民から抗議の声があがっています。しかし、日本政府は、事故後たった5日で、飛行を再開しようとしている米軍に対して、容認しています。許しがたい対応です。米軍が駐留するがゆえに起こっている問題です。国民の命が危険にさらされている状況を見捨てるような政府でいいのか問われています。



普天間第二小学校の校庭に落下した米軍ヘリの窓枠（13日）

市民の声を集めよう！……署名活動について

皆さんは、署名活動の取り組みに賛同し、署名されたことはありますか？署名はしたからといってすぐに実現するとは限りませんが、世論として、日本政府や京都府、京都市行政に対して市民の声を伝える方法の一つです。さらに、多く取り組まれることで、市民としての意識も高まっていきます。現在も重要な署名活動が取り組まれています。

一つは、安倍首相が強引に進めようとしている「憲法改悪」です。全国で3000万人の署名を集めようと取り組まれています。

もう一つは京都府知事宛に取り組まれている『府民みんなのいのちを守る要請署名』です。高い国民健康保険料や介護保険料の納入に苦しみ、利用する際の自己負担も大変です。京都府や京都市が独自に実施している「老人医療制度」（65歳以上の非課税世帯の負担を2割にする制度）

も以前の1割負担から2割負担にし、対象者も減らしました。

さらに、子どもの医療費助成は、京都府内の自治体では多くが小学校や中学校卒業まで通院の窓口負担はほぼ無料の制度になっています。京都市のみが、3歳から月3000円までの負担が必要となっています。

ぜひ、署名のご協力をお願いします。



アンテナ

明日へ戦争は罪悪



タイトルは映画のタイトルです。全国ロードショーされている映画ではなく、製作委員会によって、製作されたもので、京都では同志社の寒梅館で15日に放映され観に行きました。戦時下で「戦争反対」と発言すれば、非国民として逮捕され、拷問を受けた時代に、日本共産党員以外にも、反対の声を上げられていた僧侶がいたことに感銘しました。仏教と云えば、「不殺生」が教えです。それを戦時下では「二殺多生」（二人の命が奪われたとしても多くを助ける）と解釈し、仏教界も戦争賛成派として、多くの若者を戦争に送ったのです。主人公の僧侶・杉原良善も最初は、戦争を推進する立場でした。写真の左上の知的障害の健太郎は、本来ならば招集とされないはずなのに、良善が読み書きを教え、検査に合格し、出兵し亡くなります。母親が、嘆き悲しみ、宇の読み書きを教えても知らなかったらよかったと言われ、自分の過ちに気づきその後、生きて帰ってこい、人殺しはするな」と発言するようになります。現在の安保法制反対の行動が映画の始まりと終わりに出てくるところも、戦争が現在の問題というところを示唆し、とても良かったです。多くの人に観てもらいたいです。

